

netindex

Link to the Future™

# JASDAQ 上場 トップインタビュー 会社説明資料

<http://www.netindex.co.jp>

2007年6月22日上場

**JASDAQ**

*Listed Company 6634*

株式会社 ネットインデックス

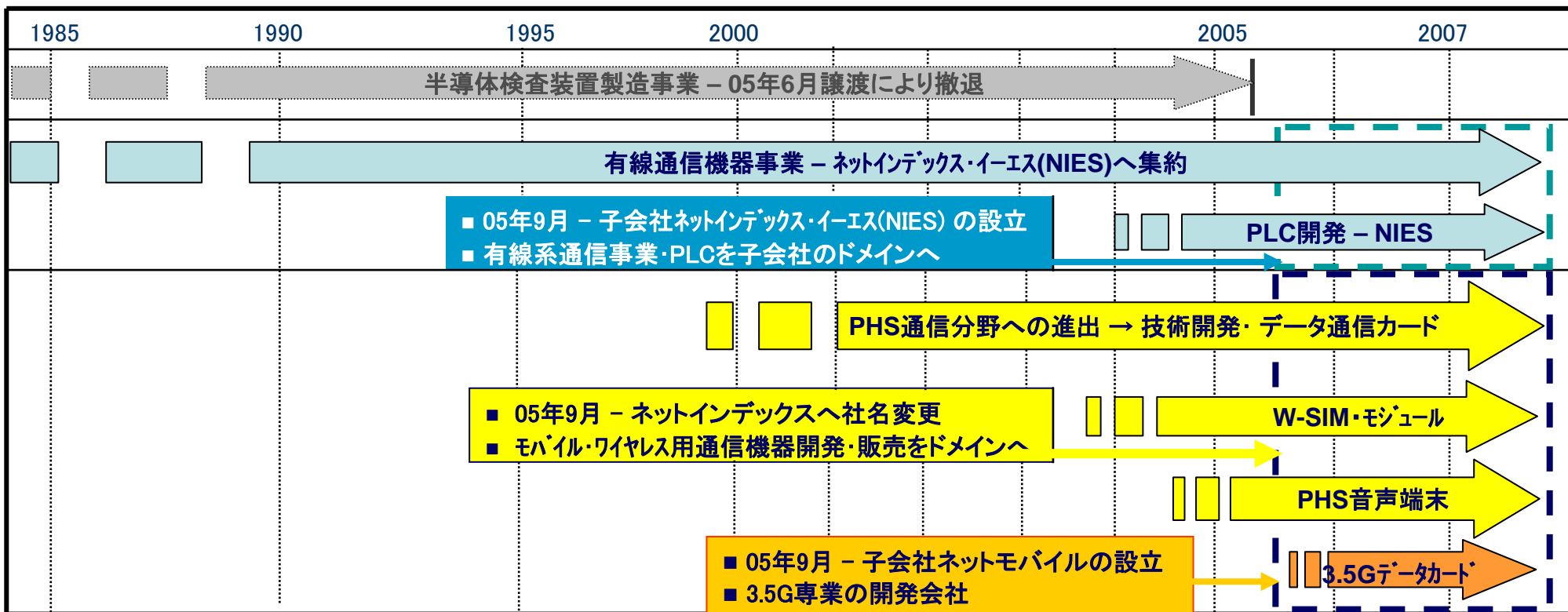
Copyright 2006 NetIndex Inc.

- **会社名** 株式会社ネットインデックス
- **本社所在地** 東京都中央区京橋2-14-1
- **代表者** 代表取締役社長 鵜野 正康
- **設立年月日** 1984年4月21日(第24期)
- **従業員数** 単体 81人(平均年齢37.0歳)  
連結 112人(平均年齢38.7歳)
- **グループ会社** 株式会社ネットインデックス・イー・エス(持株比率100%)  
株式会社ネットモバイル(持株比率100%)
- **主要株主** 株式会社インデックス・ホールディングス
- **主要製品** PHS・3.5G用通信機器・ワイヤレス/有線通信機器
- **主要顧客** ウィルコム、イーモバイル等の携帯通信事業者  
NTTデータ等のSI会社、一般事業会社(組込機器)
- **事業形態** ファブレスによる通信機器の自社開発・販売 及び  
付帯するサービス

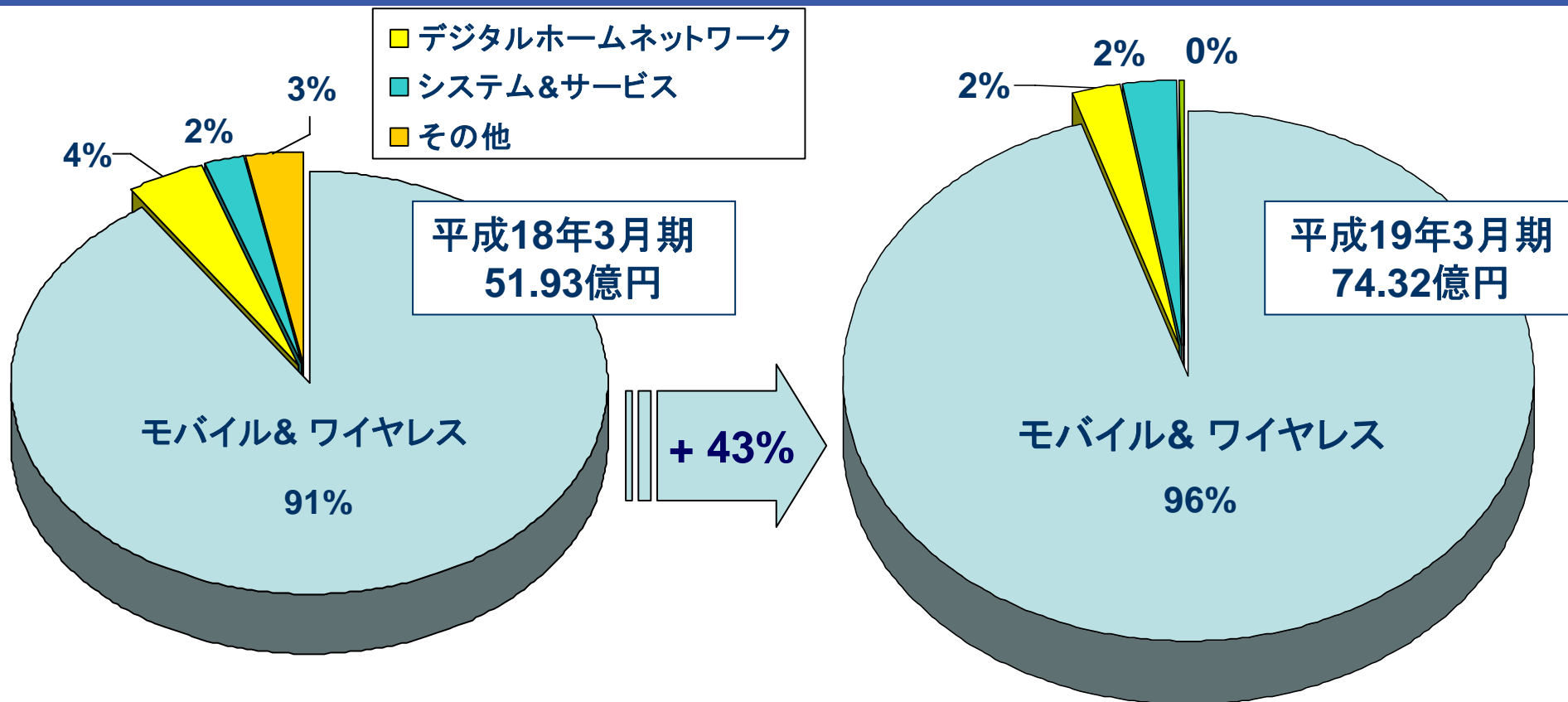


# 沿革と事業領域の明確化

- 1984年4月 本多エレクトロン株式会社として設立。主たる事業は、
  - 有線系通信機器の受託開発・製造 と 半導体製造検査装置の製造
- 1998年 PHS通信分野へ進出。2001年 初のパケット通信カード開発。
- 2004年6月 インデックスが親会社へ。社名をネットインデックスへ変更(05年9月)
- 2005年6月 半導体製造検査装置事業より撤退。通信機器開発・販売の専業へ
- 2005年9月 子会社を2社設立、グループ内の事業領域を明確化

















# 事業概要 – セグメント別情報



- デジタルホームネットワーク  
PLC技術開発を核に将来市場への投資
- システム&サービス  
システム開発並びに保守サービス  
モバイルソリューション事業への投資

- モバイル&ワイヤレス  
当社のコアビジネス。  
モバイル通信の高速化・ブロードバンド化による事業成長の機会を創出

# 製品開発実績

 <p>AH-G10 PHSで初めて 128Kbpsを実現</p>  <p>BMH10-J MVNO向け初の専用 端末(日本通信)。その 他MVNO各社へ端末 を提供。</p>	 <p>AH-H401C 128Kbps対応 CFカード</p>  <p>AH-H402P フレックスチェンジ 通信方式に対応</p>	 <p>AH-H403C 国際ローミン グに対応した CFカード</p>  <p>PC内蔵H™IN PHS内蔵PCへモ ジュール提供</p>	 <p>AH-H407P 完全収納型データ カード</p>  <p>RB-01P 初のカーナビ専用 PHSデータカード</p>  <p>ナノセル(超小型 PHS屋内基地局)</p>	 <p>“DD”+W-SIM+”TT”</p> <p>超小型PHSモジュール「W-SIM」と 対応音声端末とデータ端末を開発、 シャープ製W-ZERO3への採用 (左)。</p> <p>音声端末「nico.」の販売により、W- SIM用端末市場へ参入(右)。</p>	 <p>D01NX 1.7GHz帯HSDPA対応CFカード</p>  <p>nico.</p>  <p>AX530IN 公衆PHSサービス として初めて 512Kbpsを実現、 新規格W-OAM Type-Gに対応</p>  <p>W-SIM RX420IN W-SIMを高速化(204Kbps) 新規格W-OAMIに対応</p>	<p>2001</p> <p>2002</p> <p>2003</p> <p>2004</p> <p>2005</p> <p>2006</p> <p>2007</p>
---	---	---	--	--	---	---

# コア・コンピテンシーと当社の強み

## ■ 20年超に及ぶ通信機器開発実績

- ✓ 有線系通信機器開発実績
- ✓ 高効率変復調技術 (モデム通信技術)
- ✓ PCソフトウェア技術 (ドライバー等)
- ✓ I/Oインターフェイス信号処理技術
- ✓ 評価・検証技術 (Quality Assurance)
- ✓ 保守体制とカスタマー・サポート体制

### コア・コンピテンシー



### 事業拡大へのレバレッジ

## ■ 自社開発の知的財産

- ✓ 特許権 14件 (取得済と出願中含む)
- ✓ 海外特許出願 8件
- ✓ 商標権 4件
- ✓ 意匠権 1件

## ■ 端末メーカーへのライセンス

## ■ 10年超のPHS通信機器開発実績

- ✓ パケット通信プロトコルの自社開発
- ✓ 無線上での高速適応変調技術
- ✓ RF高周波技術と検証技術
- ✓ アンテナ指向性・整合性技術
- ✓ 基地局開発実績 (ナノセル)
- ✓ メールサーバー等のシステム設計・開発
- ✓ 中国市場向けプロトコルの開発

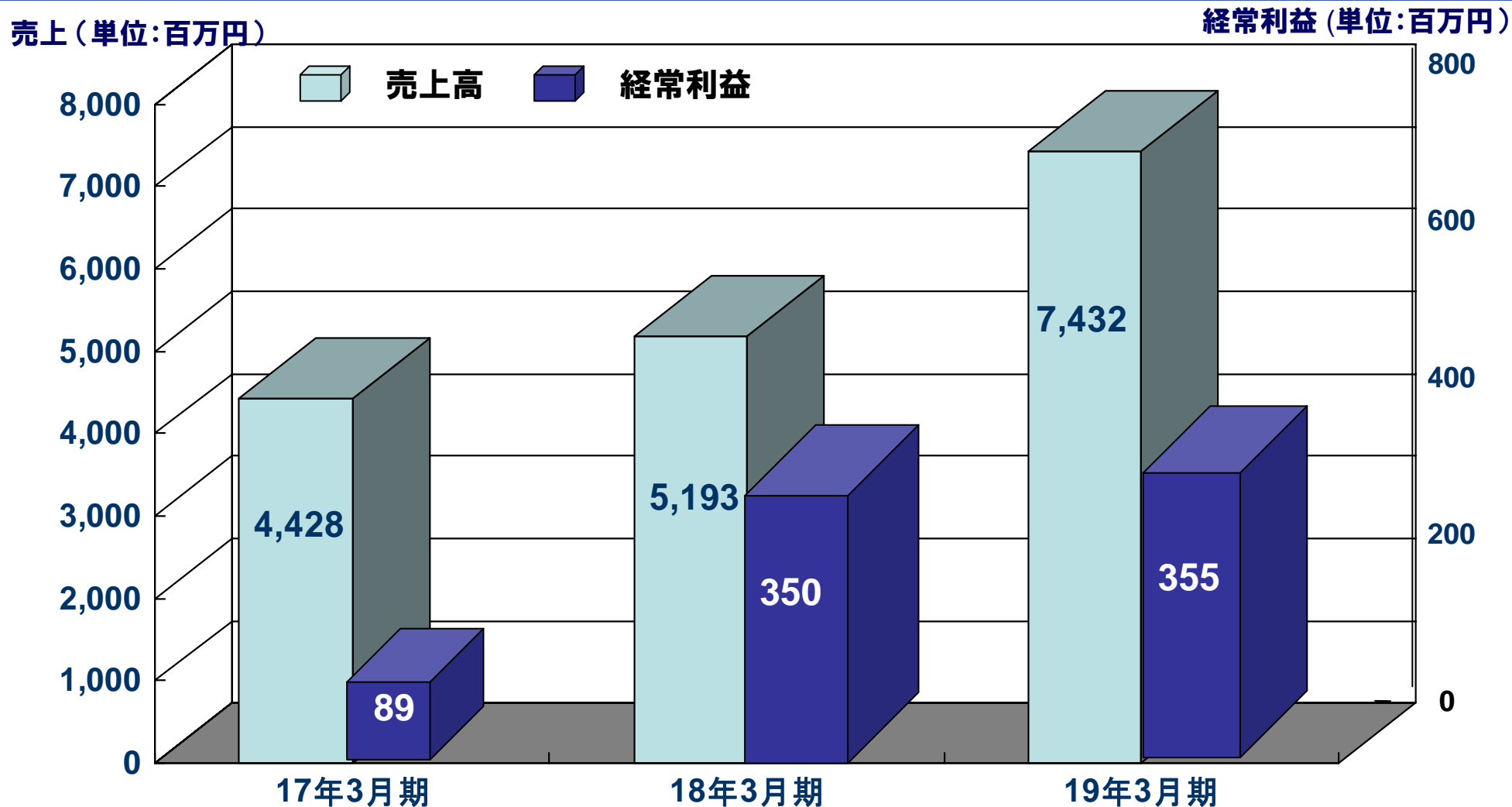
## ■ ビジネス・モデルの確立

- ✓ 企画・設計・開発へ特化
- ✓ プロジェクトマネジメント
- ✓ ファブレス化の推進

## ■ サプライチェーンモデルの構築

- ✓ 開発プロセスのアウトソーシング
- ✓ 半導体・部品メーカーとの協業
- ✓ 中国メーカーへの生産委託

# 業績の推移



(17年3月期の売上高には、半導体関連事業 3.96億円を含む)

# モバイル業界のダイナミクスな変動

## - 高速化・ブロードバンド化

### ■ モバイル通信市場規模

- ◆ 約14兆円(2006年度)
- ◆ 端末の多角化・多様化・標準化・IP化
- ◆ コンテンツからソリューションへ
- ◆ Web2.0 → Mobile 2.0

### ■ 携帯の高速化・ブロードバンド化

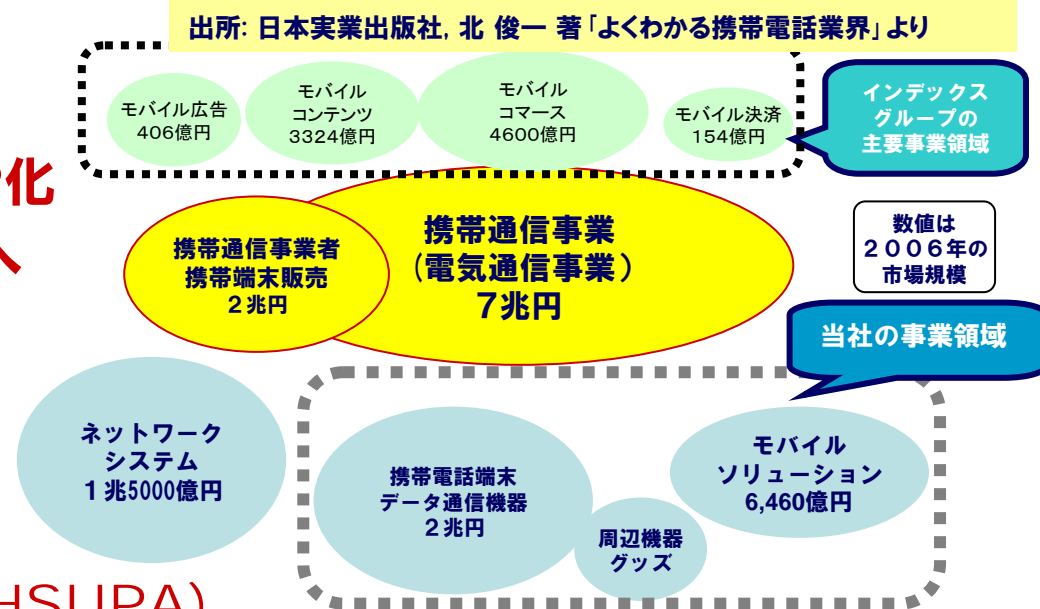
- ◆ W-CDMA(3G)への移行
- ◆ 3.5G(3.6Mbps)の商用化
- ◆ 08年-7.2Mbps →14.4Mbps(HSUPA)
- ◆ 通信事業者によるWiMAXの商用化検討
- ◆ 情報へのアクセスは、PCから携帯へ (NGNへの接続)

### ■ PHSの高速化・高度化

- ◆ 512Kbps → 800Kbps
- ◆ 次世代PHSにて20Mbpsの検討

### ■ 総務省によるMVNOモデルの検討

### ■ 固定電話と携帯電話サービスの統合(FMC) → サービスの統合





## 付加価値の最大化

- 株主、社員への利益還元拡大
- 企業価値の増大

## 収益性の向上

- 現在の成長の維持と販管費比率の低減
- 海外生産化の加速による粗利益率の改善

## コアビジネスの 拡大・伸張

- 新たなモバイル技術商用化への投資と新製品開発
- 海外企業との開発提携 – 共同開発
- ライセンス事業の立ち上げ

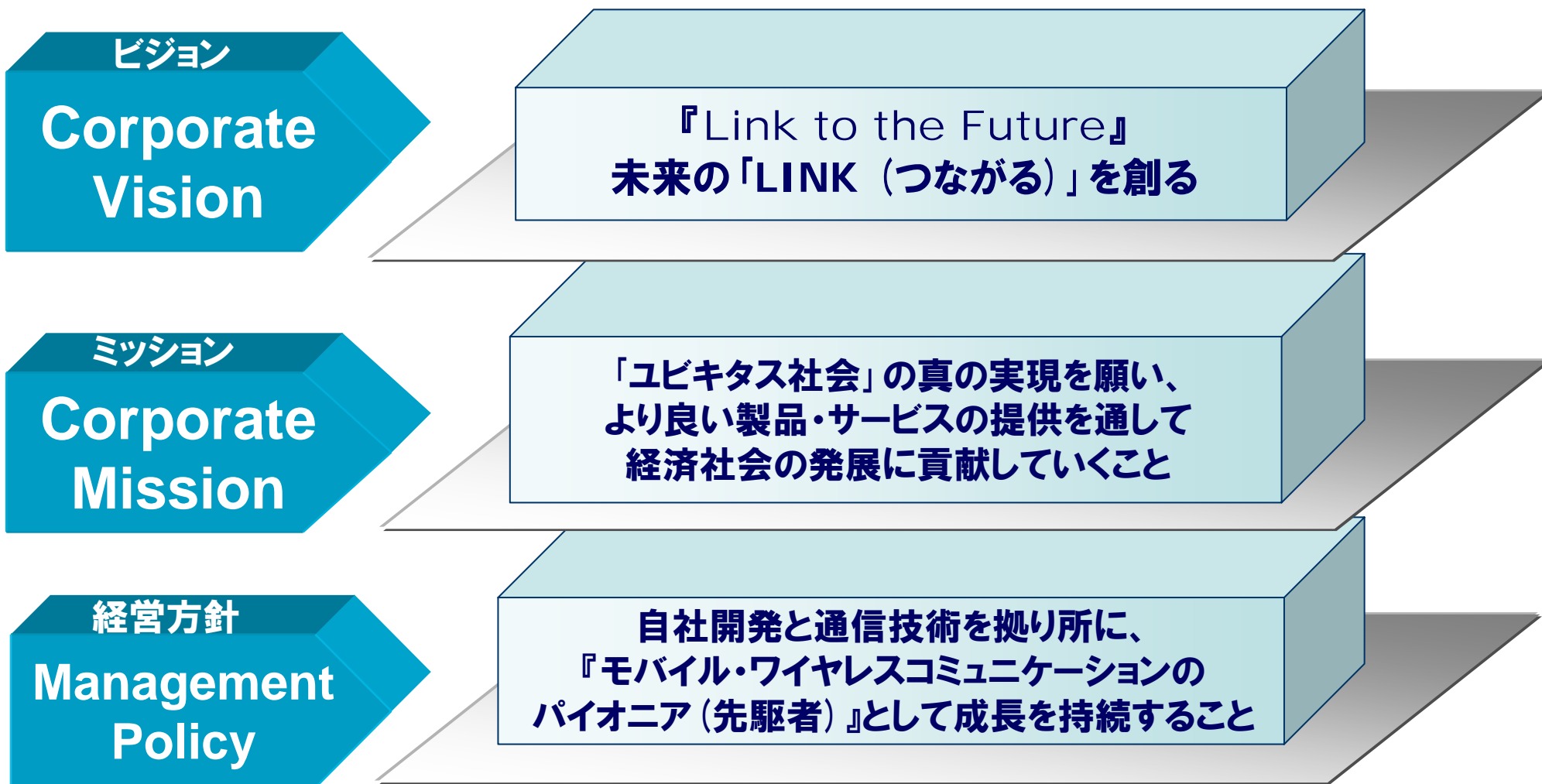
## コアビジネスの 三本化

- モバイル・ワイヤレス
- ホームネットワーク
- システム&サービス

## システム&サービス

- モバイル(ビジネス)ソリューション事業への投資

# (参考) ビジョン・ミッション・経営方針



# 本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事実環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

**本資料に関するお問合せ**

**株式会社ネットインデックス  
管理部門 IR担当**

TEL:03-5250-7321

E-mail : [ir@netindex.co.jp](mailto:ir@netindex.co.jp)